

第2学年 社会科地理分野学習指導案

日 時 平成30年11月15日(木) 5校時

指導者 教諭 中村 功佑

対 象 2年A組 11名

1 単元名・教材名 東京書籍 新しい社会地理 第3章 日本の諸地域 「関東地方」

2 指導計画

(1) 単元の目標

関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることに着目して、日本各地や世界との結びつきを捉えさせる。また、関東地方の変容を、東京を中心とした市街地の拡大、他地域との結びつきの深まりに注目して考察し、その課題に関心を持たせる。

(2) 指導計画(5時間)

時	指導目標	主な学習内容
1	資料の読み取りを通して、関東地方の地形や気候の特徴を理解し、文章で記述できるようにする。	関東地方の自然環境や気候の特色。
2	資料の読み取りを通して、関東地方の人口や産業の特徴を理解し、単元を貫く学習課題を設定できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方の人口や産業の特色。</li> <li>単元を貫く学習課題の設定。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     単元を貫く学習課題：なぜ、関東地方は「日本の中心」なのか。                 </div>		
3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りを通して、東京に人口が集中する理由が、都市機能が集まっていることや、日本最大の消費地であることと理解できるようにする。</li> <li>資料の読み取りをもとに、東京への一極集中を解消する方法を考え、文章で記述できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京に人口が集中している理由は、都市機能が集まり、日本最大の消費地であること。</li> <li>都市機能の分散や、都市部と郊外の間関係を強めることで、東京への一極集中を解消しようとしていること。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りを通して、関東地方の工業の特徴を、臨海部と内陸部の結びつきや外国との結びつきに関連付けて理解できるようにする。</li> <li>資料の読み取りを通して、関東地方の農業の特徴や観光地について、東京の市街地の拡大とその結びつきに関連付けて理解できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方の工業は、内陸部と臨海部で異なった特徴が見られ、外国との結びつきを強めることによって生産を拡大していること。</li> <li>関東地方の農業は、大消費地に近いことや冬でも温暖な気候を利用して生産を行っていること。</li> <li>交通の便が良いことを生かし、郊外には様々な観光施設が整備されていること。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りを通して、日本各地や世界との結びつきを多面的、多角的に考えられるようにする。</li> <li>単元を貫く課題に対するまとめを、文章で記述できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方は空路や海路による外国とのつながりが強く、在留外国人の人数が多いこと。</li> <li>関東地方の地域的特色を、文章でまとめる。</li> </ul>

3 本時の指導

(1) 指導の手立て

東京への一極集中を解消する方策を考えることを学習課題として設定した。ICT機器や掲示物を活用することで、生徒が課題解決のための見通しを持つことができるようにする。また、東京に人が集まる理由を読み取れる複数の資料を用意し、生徒が理由を多面的に考えられるようにする。さらに、読み取った内容をもとに一極集中を解消する手立てを考え、ワークシートに文章で記述できるようにする。その際に、少人数グループ

で意見を交流し、多面的・多角的に手立てを考えられるようにする。

(2) 本時の評価規準

観 点	おおむね満足できる	努力を要する生徒への手立て
知識・理解	東京に人口が一極集中する理由が、政治的中枢機関が集中していることと理解している。	ワークシートに記述できていない生徒には、他の人の考えを聞き、記入するよう指導する。
思考・判断・表現	東京への一極集中を解消する方法を、都市機能の分散に関連づけて記述している。	

(3) 学習過程

※太字はいわての授業づくり3つの視点

段階	学習活動	教師の支援及び留意点
導入 5分	<p>1 学習課題の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>元岩手県知事である増田寛也氏の著書を紹介する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東京への一極集中を解消するためには、どのようにすれば良いか。</p> </div> <p>2 学習課題の予想を立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器を使って資料を提示し、生徒全員に学習課題への流れを把握させる。</li> <li>掲示物を使い、本時の流れを確認する。<b>課題解決のための見通しを生徒自身が持てるようにする。</b></li> </ul>
展開 40分	<p>3 学習課題解決の活動</p> <p>(1) 資料から、東京に人が集まる理由を読みとり、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政治的中枢機能の分布      ・全国の年間商品販売額</li> <li>関東地方にある企業本社数と大学数の割合</li> <li>東京の23区への通勤、通学者</li> </ul> <p>(2) (1) で読み取った内容から、東京への一極集中を解消する方法を個人で考え、ワークシートに記述する。</p> <p>(3) グループで交流し、課題の解決を図る。</p> <p>4 学習課題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話し合った内容を、全体に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間支援により、何をしたらよいかわからずにいる生徒には資料を読み取る助言を行う。</li> <li>意図的な指名を行い、全員が理由を理解できるようにする。</li> <li>文章で記述できない生徒には、箇条書きで記述するように促す。</li> <li>複数資料を活用できない生徒への助言を行う。</li> <li><b>グループでの話し合い活動の内容を整理するために、ホワイトボードを活用する。</b></li> </ul>
終末 5分	<p>5 学習のまとめと振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、東京周辺の都市に都市機能の移転が進められていることや、大企業の地方移転が推進されていることを理解する。</li> <li>振り返りカードにまとめと振り返りを記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【まとめの記述例】東京には様々な目的を持った人が集まっているので、その目的地を地方に移せば良い。</p> <p>【振り返りの記述例】実際に国の政策として首都機能の移転が行われていることがわかったが、どの程度効果があるのかが気になった。</p> </div> <p>6 次時の予告</p> <p>次回は関東地方の産業を学習することを予告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のまとめと、授業を通して考えたことを書くように指導する。</li> <li><b>振り返りカードの記述を見取り、理解が不十分な生徒がいた場合は次時の最初で学習内容の復習を丁寧に行う。</b></li> </ul>

(4) 板書計画

単元を貫く学習課題：なぜ、関東地方は『日本の中心』なのか。  
本時の学習課題：東京への一極集中を解消するには、どのようにすれば良いか

1、予想

<人が集まる理由>

- ・日本の首都だから
- ・店がたくさんあるから
- ・交通機関が発達しているから

<解消の方法>

- ・地方を活性化させる
- ・地方に観光名所をつくる
- ・東京に住んでいる人を移住させる

2、課題解決

(1) 人口が集まる理由

資料① 政治的中枢機能や外国大使館の分布	資料② 全国の年間消費販売額	資料③ 企業本社数と大学数	資料④ 23区への通勤・通学者数
-------------------------	-------------------	------------------	---------------------

<資料からわかること>

- ・東京には政治的中枢機能が集まっている。
- ・東京は、年間の消費販売額が一番多い。
- ・企業の本社や大学が東京に集中している。
- ・周辺の県から、東京に通勤通学している人が多い。

(2) 東京への一極集中を解消する方法

1 グループ	2 グループ
3 グループ	
資料⑤ 東京周辺への都市機能の分散	資料⑥ 大企業移転への優遇政策

3、学習のまとめ

東京には様々な都市機能が集中しているために人が集まり、そのような状況を解消するために、都市機能の移転が進められていることがわかった。